

春夏秋冬

京都電力福島第一原発事故を受けての改正で、与野党が賛成し成立させた

京電力福島第一原発事故を受けての改正で、与野党が賛成し成立させた

京電力福島第一原発事故を受けての改正で、与野党が賛成し成立させた

症例検討が参考に

新人スタッフ総合講座



臨床学部は2日、新人スタッフ総合講座を開催した。

手編に分かれ、それぞれの職種に求められる基礎知識について学んだ。

恵氏(臨床学部講師)が、歯周病の基礎知識について説明。

参加者からは、「症例検討がとても参考になった。衛生士として何ができるか考えていきたい」といった声も聞かれた。

海洋放出ではない解決策を 真に持続可能な社会へ 目指す方向へ

第211回国会通商委員会で「GX脱炭素電源法案」が可決された。

経緯がある。この10年超で原発の安全性や地震・津波等に対する耐久性が増強したなどの実証はない。

後、さまざまな努力を尽くし復興を目指してきた漁業、水産業、観光業界の人々を踏みにじる態度だ。

2024年度改定に向けて 中医協で歯科診療報酬の議論始まる

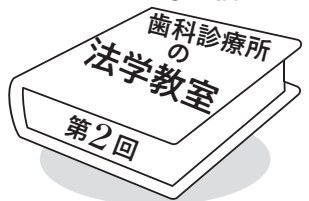
7月12日、中医協総会が開かれ、「歯科医療の機能・役割に適切に評価を付する」という方針が示された。

第5回理事会報告

保険証廃止問題などを協議

協会は8日、第5回理事会を開き、マイナ保険証不具合問題、軍拡と社会保障財源問題などの情勢や、マイナンバー保険証によるオンライン資格確認、保険証廃止を撤回する運動、歯科診療報酬改善、大阪府交渉、地方創生交付金の要請などの運動対策、協会事業・会員サービスの向上を目指した取り組み、会館建設運動の推進についてなど会務運営などを協議した。

トラブルになる前に



問診と診察の結果、治療方針を説明したのですが、患者さんが納得せず自分の言う通り治療してくれといひます。こんな場合にはどんな注意が必要ですか。

か(場合によりいずれのことでも大事ですね。 4 説明と合意形成過程を記録化する ことの重要性 大事な点は、このように説明の過程・そして患者さんの意向、さらには治療方針決定における合意形成の過程などは、できる限り詳しく記録化(カルテ記載)をしておくことです。必要に応じて治療方針に関する患者さんの「同意書」を求めることが適切なことでもあります。これらの点は歯科医師の先生方の身を守るという意味でも重要です。

説明と合意形成に向けた努力を

1 歯科医師には治療方針選択の裁量があります 高度の専門性を必要とする歯科医療行為においては、歯科医師の診療に一定の裁量が認められています。歯科医師は、今日の時点におけるいわゆる医療水準に従い、注意義務を尽くすこと(具体的内容に関しては第1回参照)は必要ですが、それを超えるものと思いつくことは最高裁判所の判決でも確認されています。歯科医師の側からすると、自らの選択した治療方針につき、必要な情報を提供しつつメリット・デメリットなど説明し、患者さんの意向も尊重しながら、合意形成に向けて努力することとなるでしょう。

